

# 小垣江地区

## ①小垣江駅

明治43年(1910)頃三河鉄道敷設計画が立てられ、大正3年(1914)刈谷新駅(現在のJR刈谷駅の南約100m付近)・大浜港駅間14.5kmの営業を開始した。三河鉄道は昭和16年名古屋鉄道と合併した。

## ②秋葉神社貝塚

この貝塚は、衣浦湾に注ぐ猿渡川左岸の台地上に分布しており、平安時代前期(9世紀後半)にこの場所で生活を営んだ跡が認められる。

カキ、ハイガイ、オキシジミ、アカニシ等貝類のほか平安時代灰釉陶器の長頸瓶・碗・土錘・製塩土器の脚等も出土している。

## ③小垣江貝塚

碧海台地の縁辺に位置し、かつては衣浦湾が入り込んでいたところである。古代の貝塚で製塩土器などが出土している。

## ④専称寺

応永期(1394~1429)頃、伊勢一身田真宗高田派の多宝坊として開かれ、寛文元年(1661)浄土宗に改宗した。寛政2年(1790)、一揆の発端となった寺参会が野田の昌福寺とともに当寺で開かれた。



## ⑤観音寺

創建は不詳であるが、寛永10年(1633)楞嚴寺住職が中興したといわれる。江戸時代神明宮とあわせて当寺に雨乞願いが多く出されている。

## ⑥お地藏さん

超円寺へ入るところに「安永八年(1779)己亥二月十五日念仏講中」と刻まれた地蔵がある。この年疫病が発生し多くの方が亡くなったため、お地藏さんをたててお祈りしたところおさまったといわれる。その隣に「□しげ原□なごや道」と刻まれた道標がある。

## ⑦超円寺

創建は不詳であるが、当初は天台宗で、達賢により元禄(1688~1704)頃中興され、浄土真宗に改宗する。

## ⑧巡見橋

徳川幕府は地方の実情を調べるために、何度か各地へ巡見使を派遣した。小垣江村から、この橋を渡って、巡見使の一行が元刈谷村へ入って来たので、巡見橋と呼ばれるようになったといわれる。



## ⑨北浦・半崎土場

土場は、船着場として利用されていたところである。衣浦湾の入江はこのあたりまで及び、江戸時代には年貢米がここから積み出され、市原や高浜の港で廻船に積み換えられ、江戸に送られた。伊勢参りの人たちも、ここから船で出掛けた。



常夜灯は、文政7年(1824)の年号があり、もとは北の方にあったが道路改修とともに現在地に移された。

## ⑩渡し場

ここに渡し場があったとされ、元刈谷村の楞嚴寺や崇福寺へ舟が出ていたといわれる。

## ⑪誓満寺

永正(1504~1520)頃、浄土真宗高田派の法栄寺として創立され、承応元年(1652)尾張建中寺の末寺となり、浄土宗に改宗し誓満寺と改めた。

## ⑫紫雲寺

浄土宗の寺で、寛保3年(1743)専称寺において1宇を建立して紫雲庵と称したが、宝暦13年(1763)現在の地に移り、明治13年に紫雲寺と改める。

## ⑬小垣江神明神社

小垣江の鎮守であり、天照大神をはじめ多くの神が祀られている。江戸時代には神明宮と呼ばれていた。応永6年(1399)に柘植能成が祠官となってから、その子孫が代々この社に奉仕した。



祭礼には、おまんこ(駆馬)が奉納される。

## ⑭親子松

天正5年(1577)西尾城修理のため、神社境内の松3本を伐採したところ、失明・失神した。城主が驚き松苗3000本を奉納して植えたが、そのうち2997本枯れてしまった。残る3本のうち2本も安永3年(1774)大風にて倒れ、1本残った松を親子松とした。この松も昭和34年の伊勢湾台風によって倒れてしまったが、現在は2代目親子松が植樹されている。

## ⑮金刀比羅社

熱田社も同境内に祀る。天明6年(1786)神明神社より現在の地へ移り勧請したといわれる。

## ⑯小垣江の塩田

江戸時代、小垣江村で塩がつくられていた。幕末あたりまで塩浜があったとされる。

## ⑰清水土場

小垣江本郷の中を流れる前川の下流にある。明治以降は清水港と呼ばれ、市原、高浜、藤江、石浜、亀崎などのほか、津、四日市まで船が出た。

小垣江にある北浦・半崎・清水土場をあわせて小垣江土場といった。

## ⑱道標

「右しんかわ、左にしお」とある地蔵の道標がある。

## ⑲曙庵跡

曙庵は刈谷の俳人中島秋挙が住んだ庵の名であり、秋挙のもう一つの号でもある。秋挙は安永2年(1773)刈谷藩士中島左守の長男として生まれた。享和2年(1802)致仕し、自ら薙髪して曙庵と号し、名古屋の井上士朗の門人となった。文政9年(1826)53歳で没した。「曙庵跡」の碑は平成6年に建立された。秋挙ゆかりの句碑は司町の市原稻荷神社境内にある。

## ⑳法栄寺

創建は不詳であるが、寛延元年(1748)誓満寺第6世誓誉上人が、当地に堂宇を建立し、法栄寺として中興する。9世・10世住職(明治時代)の墓石に「筆子中」と刻まれており、当時この寺で寺子屋が開かれていたと思われる。

## ㉑小垣江小学校

明治6年(1873)誓満寺の庫裏を教場とし、小垣江学校として創設された。翌7年専称寺に移転し、その後名称を変更したり、場所が変わっているが明治41年に現在の地に新校舎が建てられた。

# 刈谷市

## 歴史の小径

(小垣江)



文化財は私たち祖先のすぐれた文化活動の所産であり、そのひとつひとつがその土地の歴史と風土の中で育てられたものです。

先人の手によって、長い年月のあいだ大切に守られてきた偉大な文化的遺産を正しく理解し、次の世代のためにその保存と活用に心掛けましょう。

## 刈谷市教育委員会 生涯学習部文化振興課

〒448-8501 刈谷市東陽町1-1  
TEL 0566-62-1037

